

令和3年度 データヘルス計画 個別保健事業評価について

1. 中長期目標及び関連する短期目標の達成状況

中長期目標	基準値※1	実績値※2	H35目標値	関連する短期目標	基準値※1	実績値	H35目標値
	H28年5月	R3年5月			H28年	R2年	
虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症の減少 保険者数に対する患者数を増加せず、入院患者を減らす。				メタボ該当者・予備群の減少	191人 (36.2%)	163人 (36.2%)	H20年度から25%減
				健診受診者の高血圧者の減少 (160/100以上)	8.1%	1.1%	減少
虚血性心疾患患者数を維持する	39名 (4.9%)	32名 (3.8%)	維持	健診受診者の糖尿病者の減少 (HbA1c6.5%以上・治療者7%以上)	8.1%	8.5%	減少
				健診受診者の脂質異常者の減少 (LDL140以上)	24.6%	19.8%	減少
脳血管疾患患者数を維持する	25名 (3.1%)	35名 (4.2)	維持	特定健診受診受診率の向上	73.4%	68.5%	70.0%
				特定保健指導率の向上	96.5%	81.6%	90.0%
糖尿病性腎症による透析導入患者数を維持する	6名 (0.8%)	1名 (0.1%)	維持				
虚血性心疾患入院患者数の減少 (被保険者千人あたりレセ件数)	0.755	0.891	減少				
脳血管疾患入院患者数の減少 (被保険者千人あたりレセ件数)	0.168	1.881	減少				
慢性腎不全患者の入院患者数の減少(被保険者千人あたりレセ件数)	1.007	0.198	減少				

2. 個別保健事業の実施状況と、短期目標との関連及び評価

保健事業実施計画	事業概要	アウトカム			アウトプット		ストラクチャー		プロセス		令和3年度事業評価の考察と 令和4年度事業の改善点	
		評価指標	令和元年度 実績値(A)	令和2年度 実績値(B)	令和3年度 目標値(C)	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実施状況	令和3年度 実施状況	令和2年度 実施状況		令和3年度 実施状況
特定健診未受診者 対策事業	・春・秋の集団健診・施設健診・人間ドック・受診時の検査結果活用等の健診受診の方法を提示し受診勧奨を実施。 ・未受診者に対しては、個別に通知・訪問・電話等で受診勧奨を実施。	未受診者への受診勧奨率	40.9%	45.7%	増加	対象者 245人 受診勧奨実施者 112人	対象者 166人 受診勧奨実施者 22人	新型コロナ感染症拡大予防対策として、6月に実施予定だった春の集団健診が11月に延期となり、例年10月に実施してた秋の集団健診が中止となり、全体的に1日減となった。施設健診、人間ドックは例年通り実施し、受診の機会を確保した。	集団健診及び人間ドックは、例年通り実施。 例年7月より施設健診を実施しているが、町国保診療所については、新型コロナワクチン接種対応のため、10月からの実施となった。	未受診者に対し施設健診のお知らせ及び受診勧奨のための訪問を実施。 さらに未受診であれば、検査結果活用事業の利用の勧奨を実施した。 ・受診勧奨したが、新型コロナ感染症が怖いため今年は見合わせたいとの声もあった。	・春の集団健診未受診者（秋の健診、人間ドック、施設健診予定の者は除く）に対し、訪問等により受診勧奨実施。 また、町広報誌へ受診の方法や受診の重要性について掲載。 ・今後は、特定健診未受診の者すべてを対象に受診勧奨を実施する。	・令和3年度は、保健師1人が他部署に移動となり、さらに新型コロナワクチン接種業務もあったため、保健事業がなかなか進まない状況であった。 ・現時点での特定健診受診率を見ると例年より低い状況であり、特に40～64歳の受診者が50%に満たない状況である。65歳以上の受診率は75%以上であり、40～64歳の受診率を上げるために40歳前から健診受診の重要性を理解し、毎年健診を受診する意識づけが出来るようなアプローチが必要。
		リピーター率	81.6%	80.9%	90.0%	398人	273人					・特定健診未受診者対策については、あまり受診勧奨ができていない状況である。疾病の予防・早期発見、重症化予防のためには、健診を受診し、自分の体の状態を知ることが重要なため、春の集団健診終了後より、未受診者への受診勧奨を行い受診率の向上に努めていく必要がある。
特定保健指導事業	集団健診受診者には、結果通知の際に、特定保健指導の対象であることの文書を入れ、個別で保健指導を実施。中間、最終評価時に血液検査（HbA1c、血糖、中性脂肪、LDL、HDL）、体重・血圧・腹囲測定を実施し評価、指導を実施。	特定保健指導実施率	95.3%	81.6%	96.0%	積極的支援終了者 9人中6人 動機づけ支援 40人中34人 終了者	初回面接実施者 8人中8人 積極的支援 22人中23人 動機づけ支援	新採用保健師1名増となったが、保健師1名が衛生班長と兼務となったため、保健師の増加の体制とはならなかった。特定保健指導については、保健師2名、管理栄養士1名の体制で事業を実施。	・保健師1名が、他部署に移動になり、保健師が1名減となった。 保健師2名、管理栄養士1名、雇上げの管理栄養士1名の体制で事業実施。 ・生活習慣改善評価のための血液検査実施機会を確保した。	・集団健診結果送付時に、特定保健指導対象者であることの通知を同封。新型コロナ感染症の影響で健診が11月に延期となり、健診結果が12月中旬となったため、初回面接は全員実施したが、74歳の者（5名）の最終評価が翌年度になったことや仕事を理由に日程調整が出来ない者がおり、9名が終了者とならなかった。	・集団健診結果送付時に、特定保健指導対象者であることの通知を同封。 ・初回面接は実施し、今後中間、最終評価の面接を実施。 ・秋の集団健診の結果から、対象者を抽出し指導を実施する。	・特定健診未受診者対策については、あまり受診勧奨ができていない状況である。疾病の予防・早期発見、重症化予防のためには、健診を受診し、自分の体の状態を知ることが重要なため、春の集団健診終了後より、未受診者への受診勧奨を行い受診率の向上に努めていく必要がある。
生活習慣病重症化 予防事業（糖尿病 性腎症重症化予防 事業含む）	・特定健診の結果から対象者を抽出し、個別に保健指導を実施。 ・健診結果が受診勧奨値の者には健診結果郵送時に受診勧奨の文書及び受診結果の返信用はがきを送付し、未受診の者については、訪問等で受診勧奨を実施。 ・動脈硬化のリスクが高い者を抽出し、2次検査として頸動脈エコー検査を実施。	受診勧奨値の対象者の受診率（血圧・脂質・血糖）	52.7%	47.5%	増加	対象者 101人 医療機関受診者 48人	対象者 81人 医療機関受診者 29人	・新採用の保健師もKDBが使える環境を整えた。 ・健診時期が延期になったため、それに合わせて、頸部エコー検査の実施時期も当初の予定より延期し、実施の機会を確保した。	・KDBを保健師、管理栄養士が必要に応じ使用できる環境がある。 また、保健指導実践ツールを導入した。 ・指導は、保健師2名、管理栄養士1名の体制で実施。 ・二次検査として頸部エコー検査の受診機会を確保した。	・健診データより、重症化予防対象者を抽出し、KDBやレセプトデータで服薬状況を事前に確認し、個人に合わせた資料を使用し指導を実施。 ・健診結果に受診勧奨通知と受診結果報告書（ハガキ）を同封し、受診勧奨実施。また、健診結果指導と合わせて受診勧奨を実施した。	・健診データより、重症化予防対象者を抽出し、KDBやレセプトデータで服薬状況を事前に確認し、個人に合わせた資料を使用し指導を実施。 ・重症化予防対象者で、特に優先的に指導が必要と思われるものには、結果を直接手渡し、指導を実施。 ・健診結果に受診勧奨通知と受診結果報告書（ハガキ）を同封。また、健診結果指導と合わせて受診勧奨を実施。今後、ハガキが返ってきていない者には再度受診勧奨の通知を実施する予定。	・生活習慣病の重症化予防対象者についての保健指導率も低い状況になっている。重症化の予防には、継続したかかわりが重要であるため、健診結果送付後、優先順位を決めて指導を行い、その後の経過を確認していく必要がある。
		腎専門医紹介基準対象者	4.6%	4.2%	減少	19人 治療なし 3人 治療あり 16人	13人 治療なし 2人 治療あり 11人					・受診勧奨値の対象者の受診率も低い状況である。コレステロールや血圧では、数年受診勧奨値が続いていても「自覚症状がないから」「まだ薬は飲みたくないから」など未受診の者も多い。疾病が重症化する前に適切な医療に繋がるよう、保健指導及び受診勧奨を継続していく。
		心電図所見において心房細動の者	16人	5人	減少	5人 治療なし 3人 治療あり 2人	3人 治療あり 3人					
		糖尿病治療中のコントロール不良者の訪問指導率	80.6%	82.1%	100%	対象者 39人 指導実施者 32人	対象者 16人 指導実施者 6人					
ポピュレーション アプローチ	・特定健診受診者が、健康に関心が持てるよう、健診結果の見方、生活習慣病と動脈硬化の関係や重症化予防の重要性が記載されているパンフレットを健診結果に同封。 ・町広報紙に生活習慣病発症予防や重症化予防についてや医療費の状況等の情報を掲載し、特定健診の受診の重要性について周知する。	特定健診受診率（40歳～64歳）	62.4% (66.4%)	53.8% (62.4%)	70.0%	対象者 643人 (210人) 受診者 434人 (113人)	対象者 696人 (209人) 受診者 399人 (94人)	・健診の申し込みをする時期と11月の集団健診が終わった時期に町広報の掲載ページを確保。 ・健診結果に同封する、情報提供のパンフレットの予算を確保し、若年健診受診者、特定健診受診者に配付。	・健診の申し込みをする時期と11月の集団健診が終わった時期に町広報の掲載ページを確保。 ・健診結果に同封する、情報提供のパンフレットの予算を確保し、若年健診受診者、特定健診受診者に配付。 ・高血圧有所見者が多いため血圧管理のための血圧手帳購入の予算を確保。	・特定健診及び若年健診受診者に健診結果の見方や重症化予防について記載のパンフレットを配付。 ・町広報に施設健診・検査結果活用事業の利用方法、健診受診の必要性について2回掲載。	・特定健診及び若年健診受診者に健診結果の見方や重症化予防について記載のパンフレット及び血圧手帳を配付。 ・町広報に施設健診・検査結果活用事業の利用方法、健診受診の必要性について掲載。今後、健診の有所見状況等について掲載予定。	・新規透析導入者はゼロとなっており、今後も出ないよう腎機能低下のリスクが高い者への保健指導を継続していく。また、腎専門医紹介基準対象者で未治療の者は適切な医療に繋がるよう受診勧奨を行う。
		若年者健診受診率	65.0%	54.7%	増加	対象者 53人 受診者 29人	対象者 48人 受診者 37人					